

オプション検査の内容と費用

I. 腫瘍マーカー（がん）単項目検査

番号	検査項目	疑われる疾病名	その他の特徴	費用 (税込)
①	CEA	消化器系がん等	直腸がん、結腸がん、膵臓がん、胆道がん、胃がん、食道がん等の消化器系がん、肺がん、乳がん、甲状腺がん等。喫煙、肝硬変、糖尿病で上昇することがあります。	1,500 円
②	PIVKA II	肝細胞がん	タンパクの一種で、ビタミンK欠乏の時に肝細胞で作られる異常プロトロンビンで、肝臓がんでも出現することから腫瘍マーカーとして利用されています。AFP と同時に測定することにより、肝細胞がんの診断率の向上が望めます。	3,000 円
③	エラスターゼ1	膵臓がん	タンパク分解酵素の一種で、膵臓以外に白血球、血小板、大動脈等に存在しますが、膵臓に含まれる量が最も多く、膵臓がんが疑われる場合に測定されます。また、膵臓がんのほか、急性・慢性膵炎でも高率に陽性を示します。	1,500 円
④	SCC	子宮頸がん等	主に、肺や食道、子宮頸部の扁平上皮がんで高値になります。皮膚の病気で増加することもあります。	2,000 円
⑤	PSA	前立腺がん	50歳を過ぎると前立腺がんの罹患率が増加する為、50歳を過ぎた男性にお薦めする検査です。 ※前立腺炎や前立腺肥大症でも上昇する事があります。 ※アボルブ（排尿を促進する薬）またはプロベシア（男性型脱毛症の薬）を内服中の方は PSA が低下しますのでお薦めできません。	1,500 円

II. 肝炎検査セット

番号	検査項目	疑われる疾病名	その他の特徴	費用 (税込)
⑥	HBs 抗原 (定性) HCV 抗体-III	肝炎	HBs 抗原は B 型肝炎ウイルスに感染しているのかの判断の指標となり、HCV 抗体は、C 型肝炎ウイルスに感染しているかの指標になります。 ※お住まいの自治体が無料でやっている場合もあります。対象者の条件等はお住まいの市区町村の窓口へお問い合わせください。	1,400 円

III. 胃がんリスク検診

番号	検査項目	疑われる疾病名	その他の特徴	費用 (税込)
⑦	ペプシノゲン ヘリコバクター・ピロリ IgG 抗体検査	胃がん 胃ポリープ 十二指腸潰瘍	胃がんにはピロリ菌感染が強く関わっています。ピロリ菌感染によって胃粘膜の萎縮が進むと、胃がんが発生しやすくなります。 ペプシノゲンという酵素を測定して、胃粘膜の萎縮の程度を判定します。ピロリ菌感染の有無と、胃粘膜の萎縮度を血液検査で判断することで、胃がんになり易いか、なり難いかを判定します。	3,800 円

IV. 大腸がん検診

番号	検査項目	疑われる 疾病名	その他の特徴	費用 (税込)
⑧	便中ヒトヘモ グロビン	大腸の がん ポリープ 潰瘍等	大腸で炎症や潰瘍、がん等が生じた場合、便に血が混じることがあります。便潜血検査では、採取した便に試薬を混ぜ、変化を見る方法により、肉眼では確認できない出血も検出することができます。1日法では検査の精度が下がるため、2日法での実施が一般的です。大腸からの出血以外にも、胃や十二指腸等上部消化管からの出血や切れ痔、女性の場合は月経血が混入することで陽性となることがあります。	1,500円

V. 腫瘍マーカー（セット項目検査）

※数種類の項目を同時に測定することにより、精度の向上が望めます。

番号	検査項目	疑われる 疾病名	費用 (税込)
A	【男性セット】 CEA、AFP、CYFRA、 CA19-9、PSA	消化器系がん等、肝がん等、肺がん、 膵臓がん等、前立腺がん	6,000円
B	【女性セット1】 CEA、CYFRA、CA15-3、 CA19-9、CA125	消化器系がん等、肺がん、乳がん、 膵臓がん等、卵巣がん	6,000円
C	【肺セット】 CEA、CYFRA	消化器系がん等、肺がん	2,500円
D	【大腸セット】 CEA、CA19-9	消化器系がん等、膵臓がん等	2,500円
E	【肝臓セット】 AFP、PIVKA II	肝臓がん等、肝細胞がん	4,000円
F	【女性セット2】 CEA、CA125	消化器系がん等、卵巣がん	2,500円